

## (平成30年度単年度経営計画)

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	------------------------

## 基本事項

所管局課	文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課	本市出えん金	55,000 千円
基本財産/資本金	103,000 千円	本市出えん率	53.4 %

## 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	存続	目標年度	-
-----	----	------	---

## 「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	「多様な文化芸術と結びついた京都の豊かな暮らしの深い実感を提供すること」 「様々な文化交流を通じて国内外における京都の存在価値感を高めること」を当財団の 目指すべき経営展望として掲げ、以下を重点方針とする。 ①「文化芸術都市・京都」の創生を推進する質の高い音楽芸術・舞台芸術を創造・ 提供 ②地域の文化力のさらなる向上と社会包摂の取組を推進 ③文化芸術ネットワークの拡充と連携・協働を推進
財務面	管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するため以下のことに取り組む。 ①中期的な収支の見通しに基づく財務戦略の展開 ②財団全体・各事業部門の財務管理の強化 ③戦略的・計画的な投資等の推進 ④ファンドレイジングの推進
組織面	管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに経営基盤を強化するた めに以下のことに取り組む ①自立的な組織運営 ②働き方改革等への対応 ③組織人員体制・配置等の最適化 ④危機管理体制の確立・運用
その他	

## 当年度の取組目標に対する意見

所管局	業務面においては、京都コンサートホール、ロームシアター京都、地域文化 会館5館のそれぞれの特性を生かした魅力ある事業を展開するとともに、関連 施設との連携を進めていただきたい。 財務面については、ロームシアター京都（京都会館）がオープニング時期を 終え、通常運営に移行している重要な時期であることを念頭に、各施設におい て貸館としての利用促進を引き続き行うことに加え、新たな販路開拓にも注力 いただきたい。
-----	---

## 当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	業務面においては、京都コンサートホール、ロームシアター京都、地域文化 会館（5館）のそれぞれの特性を活かした事業を実施するとともに、京都コン サートホール、ロームシアター京都及び地域文化会館においての連携事業を積 極的に実施した。また、各施設において京都市交響楽団を活用した事業も積極 的に行った。 財務面については、京都コンサートホール、ロームシアター京都等が様々な 貸館利用の促進に向けた取組を行い、新規利用を開拓し、施設利用料収入の増 加により収入の安定化を図った。
所管局	ロームシアター京都をはじめ、指定管理を行っている施設の安定的な運営を 行っており、京都市の文化施策を担う外郭団体として事業を確実に進めてい る。 今後も、中期経営計画に基づき、徹底的な組織管理、経営基盤の確立に努め ていただきたい。

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	------------------------

## (1)業務に関する取組

目標「各施設の利用促進」	
中期経営計画 における取組	京都が世界的な「文化芸術都市」として創生することを推進するため、質の高い音楽芸術・舞台芸術を創造・提供するとともに、京都の文化力のさらなる向上と社会包摂を促進する取組を推進し、管理運営施設の利用促進を図る。
当年度目標	京都コンサートホール及び地域文化会館（5館）については、各種助成金制度の広報・宣伝を引き続き強化し、平日の利用促進を図るほか、施設の空き情報をホームページで発信するなど、利用率のさらなる向上に努める。 また、ロームシアター京都については、自主事業での利用に加え、施設の空き状況等を踏まえた積極的な貸館営業にも取り組み、利用料金収入の増加を図る。
当年度結果 (※)	京都コンサートホール及びロームシアター京都については、目標設定していた利用料金収入額に到達できたが、地域文化会館（5館）については、目標設定していた利用料金収入額を達成することができなかった。 全体として、平成30年度の目標値の99%以上を到達しており、おおむね目標を達成できた。

指標	施設利用料金収入				(単位：千円)			
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	695,815		758,400		758,400		758,400	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	750,637	765,262	758,400	751,470	—		—	

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	------------------------

## (2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績(※)	予算	実績	予算	実績	
経常収益	2,936,196	2,858,600					
経常費用	2,949,953	2,857,390					
当期経常増減額	△ 13,757	1,210					
当期正味財産増減額	△ 13,757	890					
資産合計	-	1,516,027					
負債合計	-	786,121					
正味財産	-	729,906					
うち累積損益額	-	626,906					

目標「サポーター・パートナー会員収入」	
中期経営計画 における取組	中期的な収支の見通しに基づき、財務戦略の展開を図るとともに、戦略的・計画的な投資等の推進を行う。また、会員制度の充実を図り、会費収入の維持・拡大に努める。
当年度目標	<p>前年度までに引き続き、制度趣旨について、多数の市民に、また社会貢献活動に御関心のある企業の方々に、ご理解・ご賛同をいただく。 会員数についても、現在の会員加入者の皆様に継続していただけるよう、目標設定の6,000千円を目指す。</p> <p>法人：サポーター 31口 3,100千円            〃：スペシャルサポーター 5口 500千円            個人：パートナー 43口 860千円            〃：スペシャルパートナー 77口 1,540千円 計6,000千円</p>
当年度結果 (※)	<p>会員の方への会報の送付、チケットの先行予約のほか、会員向けバックステージツアーやゲネプロ公開、事業報告会を開催するなど、会員の方に事業内容を深くご理解いただき継続して御支援いただけるように努めたことにより、平成30年度の目標としていた収入額6,000千円を423千円上回る事ができた。</p> <p>法人：サポーター 34口 3,400千円            〃：スペシャルサポーター 5口 500千円            個人：パートナー 45口 903千円            〃：スペシャルパートナー 81口 1,620千円 計6,423千円</p>

指標	サポーター・パートナー会員収入（単年度）の目標値							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	5,000		6,000		6,000		6,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	6,000	5,900	6,000	6,423	-		-	

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	------------------------

## (3)組織に関する取組

目標「経営基盤を強化するための適正かつ弾力的な人員配置」	
中期経営計画 における取組	財団の自立，存在意義を高め，経営基盤を強化するために必要な組織運営面の取組を推進する。また，働き方改革等への対応を行いながら，適正かつ弾力的な人員の構成を図る。
当年度目標	指定管理施設（7館）の指定管理期間の最終年度を迎え，さらに，効果的・効率的・安定的な事業執行を実現する体制を確立する。 また，プロパー職員の登用試験を実施し，中長期的に財団を支える職員の人材育成にも努める。
当年度結果 (※)	指定管理施設（7館）の指定管理期間の最終年度を迎え，さらに，効果的・効率的・安定的な事業執行を実現する体制を確立するとともに，次期指定管理の獲得や働き方改革への対応を見据え，人員体制の強化を図った。 また，平成29年度に引き続き，プロパー職員の登用試験を実施し，中長期的に財団を支える職員の人材育成にも努めた。

指標	適正かつ弾力的な人員構成を測るための具体的なスケジュール							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な人員体制の確立</li> <li>中長期的に財団を支える職員のプロパー登用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>適正かつ弾力的な人員構成の検討</li> <li>中長期的に財団を支える職員のプロパー登用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>適正かつ弾力的な人員構成の確立</li> <li>中長期的に財団を支える職員のプロパー登用</li> </ul>	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な人員体制の確立</li> <li>中長期的に財団を支える職員のプロパー登用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期指定管理の獲得を見据えた，人員体制の確立</li> <li>プロパー登用試験の実施（平成30年度プロパー登用者 7人）</li> </ul>	—		—	

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	------------------------

## (4)その他の取組

目標「京都市からの派遣職員の削減の検討」	
中期経営計画 における取組	京都市からの派遣職員については、財団と市が事業等で密接に関連しており、一定の公共性を確保したうえで、円滑に施策を推進するために必要最低限の人員の派遣を受けているところである。 現在、ロームシアター京都（京都会館）に関する運営等の安定化を図るうえで、当面の人員削減は困難だが、中期経営計画を推進するとともに、より自立的な経営体制の構築を図り、財団の運営状況や事業の進捗を見極めながら、将来的な組織の在り方や人員体制、人材育成等について検討する。
当年度目標	ロームシアター京都の安定的な運営、財団全体の中長期的な運営を見据えながら、より効率的な組織の在り方や必要な人員体制、財団独自の人材育成について更なる検証を進める。
当年度結果 (※)	ロームシアター京都の安定的な運営、財団全体の中長期的な運営を見据えながら、より効率的な組織の在り方や必要な人員体制、財団独自の人材育成について更なる検証を進め、1名の削減を行った。

指標	派遣職員数削減に向けた検討スケジュール							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	—		財団職員配置と連携した派遣職員数の検討		財団職員配置と連携した派遣職員数の検討		派遣職員を含む職員の適正かつ弾力的な人員構成の確立	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	—	—	財団職員配置と連携した派遣職員数の検討	財団職員配置と連携した派遣職員数の検討し、1名の削減を行った。	—		—	